

海堂 尊、中山七里、柚月裕子を輩出！

ミステリー作家の登竜門『このミス』大賞に新賞創設！

新人作家の作品を **映像化** 6/1公募開始！

新人作家の登竜門『このミステリーがすごい！』大賞を主催する株式会社宝島社(本社:東京都千代田区代表取締役社長:蓮見清一)は、USEN-NEXT GROUPの株式会社 U-NEXT(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:堤 天心 以下、U-NEXT)及び関西テレビ放送株式会社(本社:大阪府大阪市北区 代表取締役社長:福井澄郎 以下、カンテレ)と協賛し、第18回『このミステリーがすごい！』大賞に、映像化を前提とした賞、「U-NEXT・カンテレ賞」を新設します。

『このミステリーがすごい！』大賞は、ミステリー&エンターテインメント作家・作品の発掘・育成を目的に2002年に創設した新人賞です。大賞受賞者には文学賞最高額である1200万円を贈呈、受賞作はすべて書籍化されています。本賞はこれまで、多くのベストセラー作品を輩出してきました。『チーム・バチスタの栄光』(海堂尊・2008年映画化、テレビドラマ化)や、『がん消滅の罠 完全寛解の謎』(岩木一麻・2018年テレビドラマ化)、『さよならドビュッシー』(中山七里・2013年映画化、2016年テレビドラマ化)、『完全なる首長竜の日』(乾緑郎・2013年映画化、映画タイトル『リアル 完全なる首長竜の日』)、『果てしなき渇き』(深町秋生・2014年映画化、映画タイトル『渇き。』)など、多くの映像化作品も送り出しています。

U-NEXTは、11ジャンル120,000本以上の動画を配信する日本最大級の動画配信サービスです。またカンテレは、2018年「ニューヨークフェスティバル」の刑事ドラマ部門でオリジナル作品『CRISIS 公安機動捜査隊特捜班』(2017年制作)が銅賞を受賞するなど、国内外で高い評価を得ています。

今回、『このミステリーがすごい！』大賞の作品が多数映像化されていることを受け、新たに「U-NEXT・カンテレ賞」を設立。大賞・優秀賞は従来通り『このミス』選考委員が決定し、それ以外の全応募作品の中からU-NEXT・カンテレが映像化したい1作品選出します。「U-NEXT・カンテレ賞」に選ばれた作品は実際に映像化され、U-NEXTでWEB配信及びカンテレにてテレビ放映を予定しています。

第18回『このミステリーがすごい！』大賞の公募は2018年6月1日から2019年5月31日まで。

『このミステリーがすごい！』大賞では、これからも新しい作家・作品を発掘・育成し、業界の活性化に寄与したいと考えております。



『このミステリーがすごい！』大賞

U-NEXT × 8カンテレ

「U-NEXT・カンテレ賞」新設！

第18回『このミステリーがすごい！』大賞に
実写ドラマ化を前提とした新賞が創設されます！

「U-NEXT・カンテレ賞」

対象:応募作品の中から1作品

(大賞・優秀賞の作品以外から選出)

賞金:100万円

副賞:ドラマ化され、動画配信及びTV放送

**過去の「このミス」大賞受賞作の
ドラマ化プロジェクトも始動！**

2019年より、映像配信サービス「U-NEXT」での配信
及びカンテレでのTV放送を予定。

公募期間

2018年6月1日～

2019年5月31日

**「このミス」大賞とは？**

ミステリー&エンターテインメントブックガイド

『このミステリーがすごい！』を発行する宝島社が、
新時代の新しいミステリー&エンターテインメント作
家・作品の発掘・育成を目的に、2002年に創設した
新人賞。

第153回直木賞を受賞した東山彰良氏や、第15回大藪
春彦賞を受賞した柚月裕子氏ほか、累計1000万部突
破の「チーム・バチスタの栄光」シリーズの海堂尊氏
などの作家を輩出している。受賞作品からは多数のベ
ストセラーが生まれ、映像化作品も多数世に送り出
している。また、岡崎琢磨氏の「珈琲店タレーランの事
件簿」シリーズなど、受賞には及ばなかったものの将
来性を感じる作品を「隠し玉」として、他の受賞作と
同様に書籍化している。

「大賞」

賞金:1200万円 副賞:書籍化

「優秀賞」

賞金:200万円 副賞:書籍化

詳しくは、
WEBサイトをご覧ください。
<http://konomys.jp>

『このミス』大賞・受賞作 過去の映像化作品

第4回 大賞受賞

『チーム・バチスタの栄光』

2008年映画化 & TVドラマ化



シリーズ累計
1000万部突破！

続編も映像化
2009年映画化
2010年TVドラマ化

宝島社文庫

『新装版 チーム・バチスタの栄光』

宝島社文庫

『新装版 ジェネラル・ルーシュの凱旋』

海堂 尊(かいどう たける)
1961年、千葉県生まれ。
第4回『このミステリーがすごい！』大賞を受賞し、『チーム・バチスタの栄光』にて2006年にデビュー。

新刊



『玉村警部補の巡礼』

第8回 大賞受賞

『さよならドビュッシー』

2013年映画化
2016年TVドラマ化



宝島社文庫

『さよならドビュッシー』

中山七里(なかやましちり)

1961年、岐阜県生まれ。
第8回『このミステリーがすごい！』大賞を受賞し、『さよならドビュッシー』にて2010年デビュー。

新刊



『連続殺人鬼カエル男ふたたび』

第15回 大賞受賞

『がん消滅の罠 完全寛解(かんかい)の謎』

2018年TVドラマ化



宝島社文庫

『がん消滅の罠 完全寛解の謎』

岩木一麻(いわき かずま)

1976年、埼玉県生まれ。千葉県在住。第15回『このミステリーがすごい！』大賞を受賞し、『がん消滅の罠 完全寛解の謎』にてデビュー。

第9回 大賞受賞

『完全なる首長竜の日』

2013年映画化
(映画タイトル『リアル 完全なる首長竜の日』)



宝島社文庫

『完全なる首長竜の日』

乾 緑郎(いぬいろくろう)

1971年、東京都生まれ。『完全なる首長竜の日』にて第9回『このミステリーがすごい！』大賞・大賞を受賞。『忍び外伝』で第2回朝日時代小説大賞受賞、新人賞二冠を達成。

第16回(2018年)の受賞作

大賞



『オーバーparts 死を招く至宝』
蒼井 碧(あおい ぺき)

当時の技術や知識では制作不可能なはずの古代の工芸品、オーバーparts。水晶髑髏、黄金シャトル、恐竜土偶、ストーンヘンジ... 謎の至宝をめぐる殺人事件と前代未聞のトリックに、天才オーバーparts鑑定士・古城と貧乏学生・鳳が挑む！

優秀賞



宝島社文庫『感染領域』
くろきすがや

感染領域を拡げるトマトの病変。世界的危機を防ぐため、植物病理学者と天才バイオハッカーがその謎に挑む！

優秀賞



宝島社文庫『筋読み』
田村和大(たむら かずひろ)

事件を推理する筋読みに長けた“ヨミヅナ”こと刑事・飯綱が、奇妙に絡んだ事件を追いかける。

第3回 大賞受賞 『果てしなき渴き』



2014年映画化
(映画タイトル『渴き。』)

深町秋生(ふかまち あきお)

1975年、山形県生まれ、第3回『このミステリーがすごい！』大賞・大賞を受賞し、『果てしなき渴き』にて2005年デビュー。

宝島社文庫『新装版 果てしなき渴き』